

2025年3月期第3四半期 決算補足説明資料

栄研化学株式会社（証券コード：4549）

2025年1月31日

2025年3月期 第3四半期決算概要

2025年3月期第3四半期決算概要

2025年3月期 第3四半期エグゼクティブサマリー

• 外部環境

- ✓ 世界的な資源価格の高騰や金融引き締めに伴う経済の下振れリスク
- ✓ 円安や原油高による物流及び原材料調達等のコスト上昇

• 当社業績

- ✓ 前年同期比 増収減益
- ✓ 便潜血検査試薬は、海外における構造的要因によるマイナス影響がほぼ解消し、国内外ともに堅調に推移
- ✓ 遺伝子関連は、新型コロナ検査の需要の剥落、LAMP法の特許満了の影響により減収
- ✓ セールスマックスの変化、研究開発費増等の要因により、営業利益・純利益ともに減益

• その他

- ✓ 累計約9.7億円の自己株式取得を実施
- ✓ コンパニオン診断システムの薬事承認・保険適用に伴い受託検査がスタート
- ✓ 全自動尿分析装置 US-3600、尿自動分析装置 US-1300 発売

上期の整理および下期の見通しと対策・第3四半期の状況

	期初想定	期初想定との差異 (上期実績)	今後の見通しと対策	第3四半期状況
便潜血検査	海外 ・受診対象年齢拡大等による需要増 ・各国受診率の向上 国内 ・新採便緩衝液による需要増（郵送検診の普及拡大） ・国の大腸がん検診受診率の目標値アップに伴う受診率の向上	・入札前の買い控え・在庫調整（主に1Q） ・対象年齢拡大効果に時間を要する ・順調に推移しているものの期初予想に対しては未達 ・郵送検診の効果に時間を要する	・当社固有の悪化要因はないものの上期業績を勘案し下方修正 ・入札前の買い控えは解消 ・大腸がん検診未実施国への展開（例：インド、中東 etc.） ・各国の受診率向上をプロモート ・上期業績を勘案し下方修正 ・新採便緩衝液による郵送検診の普及、受診機会の向上 ・大腸がん検診受診率向上への取り組み（自治体向けサービスの提供、一般向け啓発ウェブサイトによる情報発信）	・入札前の買い控えはほぼ解消 ・大腸がん検診未実施国での採用 ・一部の自治体で郵送検診を開始
遺伝子関連	新型コロナ遺伝子検査 ・病院市場（術前・入院前検査）での一定数需要 LAMP特許料 ・特許が残る地域でのランニングロイヤリティ収入 結核検査薬（TB-LAMP） ・ナイジェリアにおける大規模採用の継続	・検査の有料化も影響し生活者の受診意識が薄れ、需要が想定を下回る ・想定を下回る ・ファンド予算確保の遅れによる期ずれ	・上期状況のまま推移 ・上期状況のまま推移 ・通期予想は期初想定通り、今期中に出荷予定	・新型コロナ検査の需要の剥落 ・LAMP法の特許料収入は限定的 特許料：1百万円（前年同期 314百万円） ・ナイジェリアへの出荷が再開
収益性	・期初時点では大幅増益を見込む ・高利益品（便潜血、イムノキャッチ新製品等）に集中した販促を展開 ・セールスマックスの変化による粗利の改善を想定 ・一方で、主に研究開発費増による販管費の増加も想定	・減益 ・高利益品の市場への浸透に時間を要している ・一方で利益率の低い器具・装置関連は対予算で好調に推移 ・販管費は期ずれ等により対予算で未消化	・通期減益予想 ・対策：高利益品の拡販、一部の製品群および海外の円安を利用した値上げの実施 ・経費削減、効率的な使用に取り組むが、将来の成長に向けた研究開発、人的資源への投資は継続 ・製造承認申請にかかる規制対応に伴う開発費の増加もあり、研究開発費は期初想定比で増加 ・通期営業利益率は期初想定比で△5.1ポイントを予想	・減益 ・高利益品の便潜血、イムノキャッチ新製品等は増収となったが、新型コロナ試薬の売上やLAMP法の特許料減等の影響をカバーできず ・一部製品の値上げを実施 ・経費削減、効率的な使用に努める一方、将来の成長に向けた研究開発等の投資は継続中

2025年3月期第3四半期 実績 前年同期比

売上は、新型コロナ試薬の売上減があるものの、2Qまでの減収から国内外ともに持ち直し、前年同期比で微増収
利益は、高利益品の新型コロナ試薬の売上減等によるセールスマックスの変化、研究開発費を中心とした販管費増により減益

	2024年3月期 第3四半期		2025年3月期 第3四半期		前年同期比	
	(百万円)	売上高比率	(百万円)	売上高比率	(百万円)	増減比率
売上高	30,493	100.0%	30,640	100.0%	146	+0.5%
国内	22,797	74.8%	22,772	74.3%	△24	△0.1%
欧州	3,098	10.2%	2,789	9.1%	△309	△10.0%
北米	1,515	5.0%	1,925	6.3%	409	+27.0%
アジア・オセアニア・その他	3,081	10.1%	3,153	10.3%	71	+2.3%
売上原価	17,425	57.1%	17,866	58.3%	441	+2.5%
売上総利益	13,068	42.9%	12,773	41.7%	△294	△2.3%
販売費及び一般管理費	9,650	31.6%	10,138	33.1%	488	+5.1%
営業利益	3,417	11.2%	2,634	8.6%	△783	△22.9%
経常利益	3,497	11.5%	2,835	9.3%	△662	△18.9%
当期純利益	2,571	8.4%	2,116	6.9%	△454	△17.7%

セグメント別決算 前年同期比

主力製品の便潜血が、国内外ともに堅調に推移

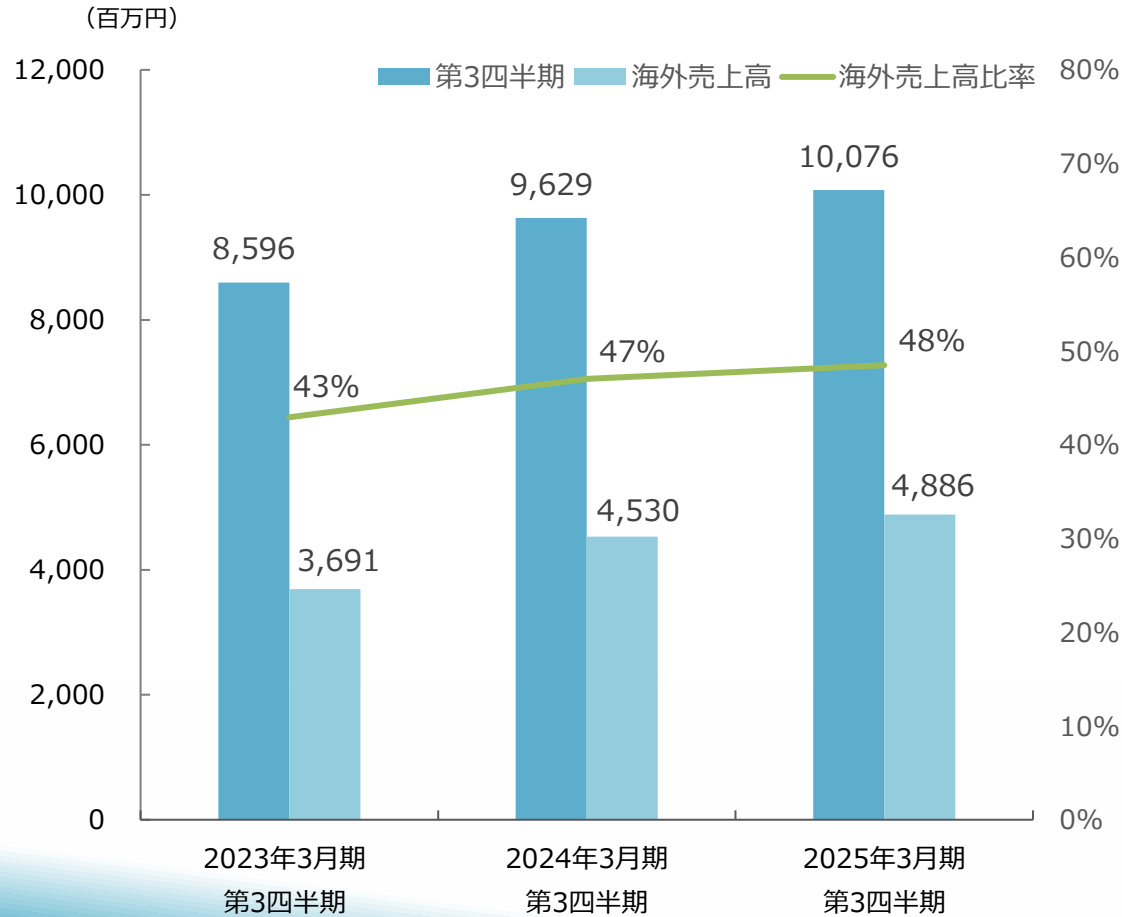
遺伝子関連は新型コロナ検査需要の剥落、および特許満了等の影響により減収

	2024年3月期 第3四半期		2025年3月期 第3四半期		前年同期比	
	(百万円)	構成比	(百万円)	構成比	(百万円)	増減比
便潜血	9,629	31.6%	10,076	32.9%	446	+4.6%
免疫血清 (便潜血を除く)	7,306	24.0%	7,546	24.6%	240	+3.3%
尿検査	3,222	10.6%	3,505	11.4%	283	+8.8%
微生物	3,339	10.9%	3,469	11.3%	130	+3.9%
生化学	454	1.5%	455	1.5%	1	+0.3%
器具・食品環境	1,489	4.9%	1,492	4.9%	3	+0.2%
遺伝子関連	2,202	7.2%	1,415	4.6%	△ 786	△35.7%
医療機器・その他	2,850	9.3%	2,678	8.7%	△ 172	△6.0%
合計	30,493	100.0%	30,640	100.0%	146	+0.5%

セグメント別決算詳細①

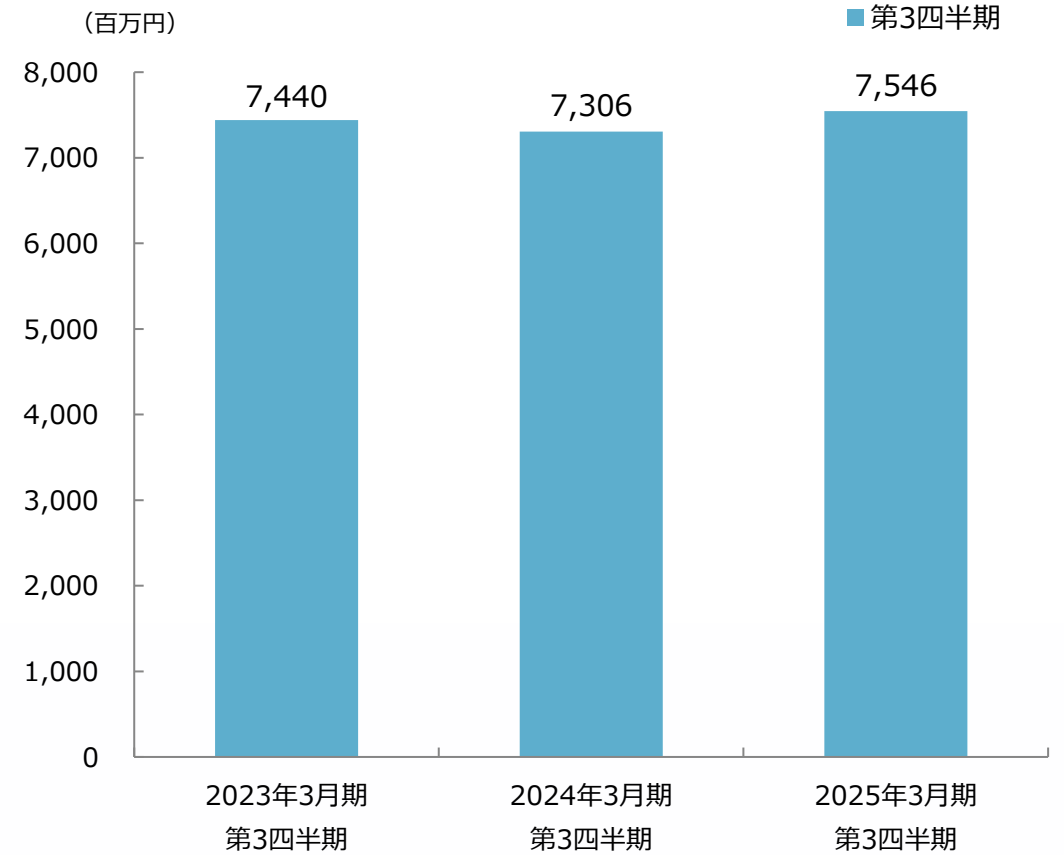
便潜血検査用試薬

国内外ともに堅調に推移し増収



免疫血清検査用試薬

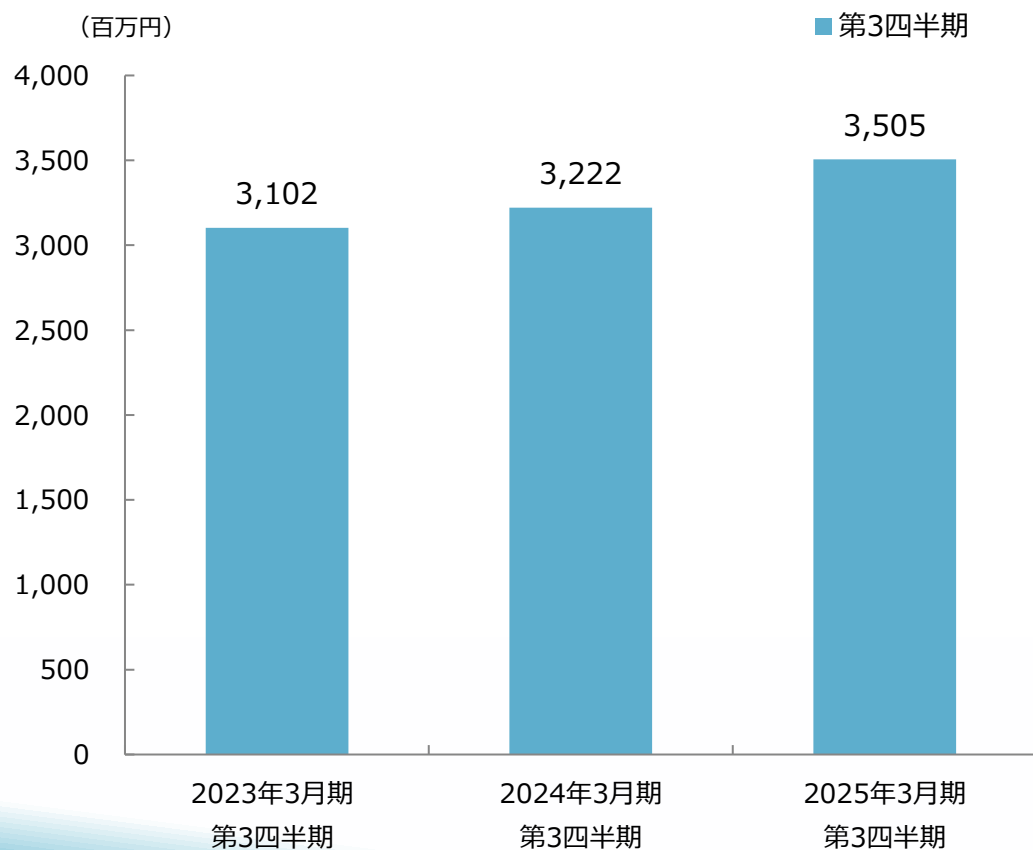
AIA、HbA1cの採用施設増加等の要因で増収



セグメント別決算詳細②

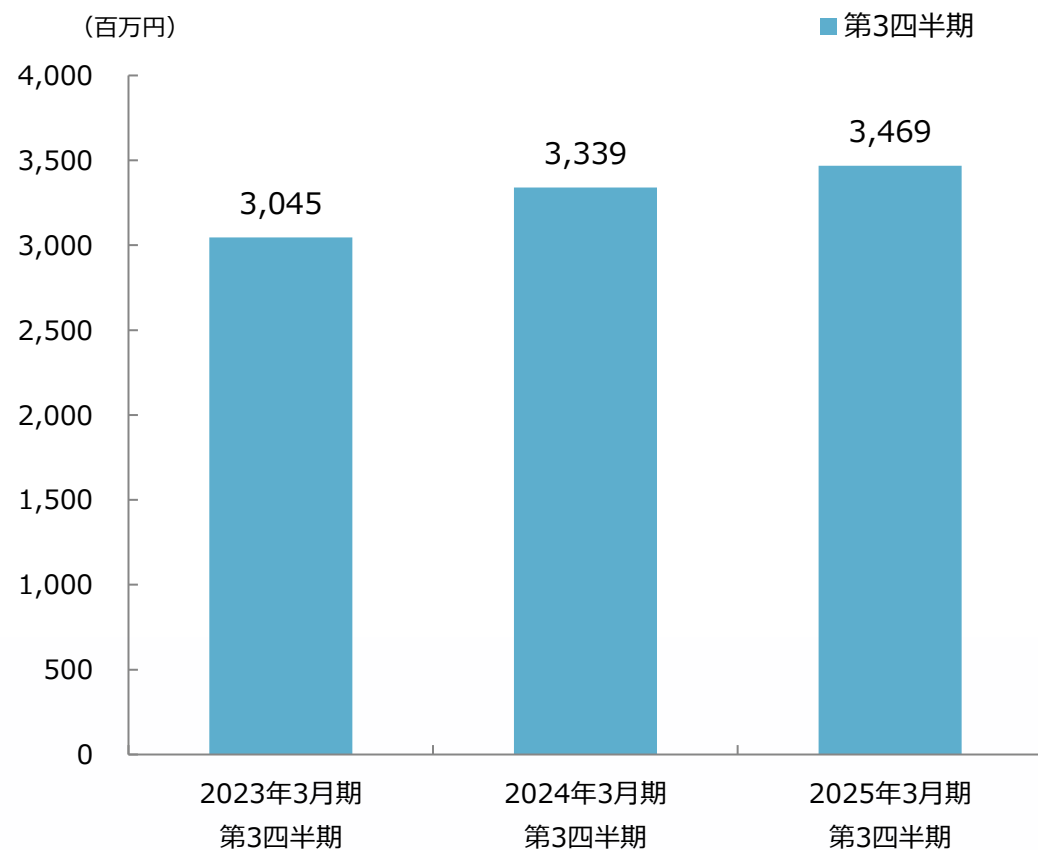
尿検査用試薬

国内、海外向けともに堅調に推移し増収



微生物検査用試薬

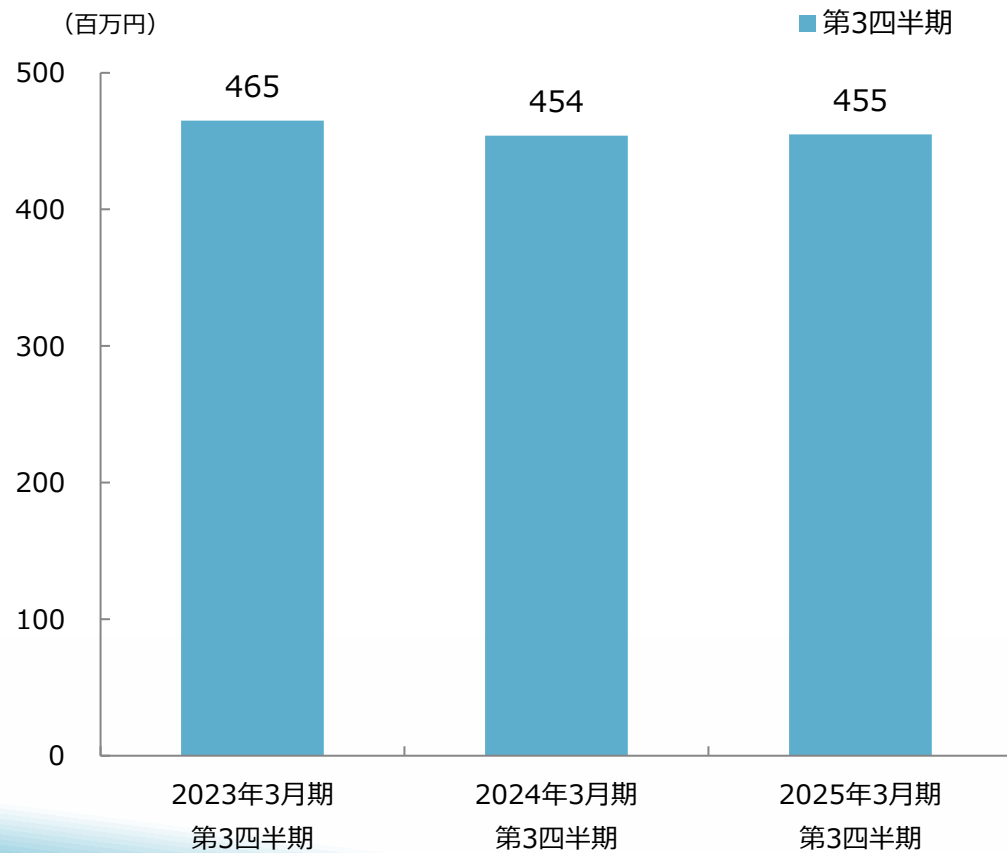
新製品の迅速診断キット等が売上を伸ばし増収



セグメント別決算詳細③

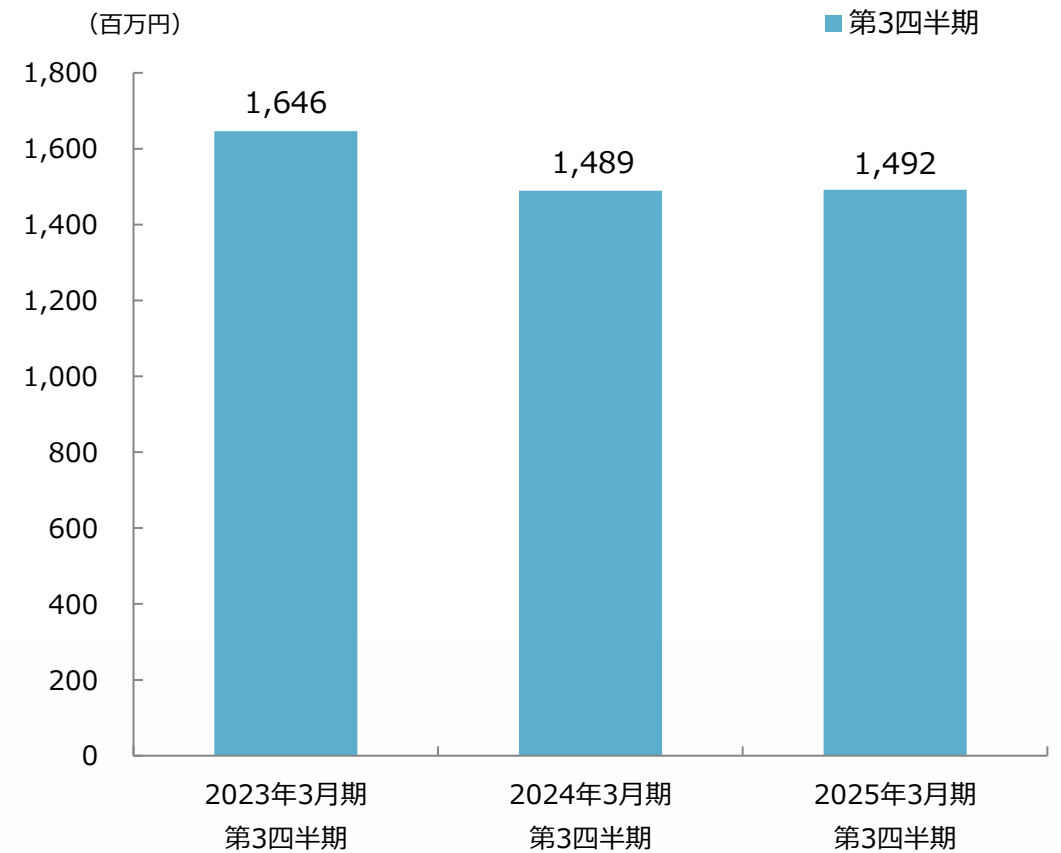
生化学検査用試薬

市場環境の厳しさのなか、前年並で推移



器具・食品環境関連培地

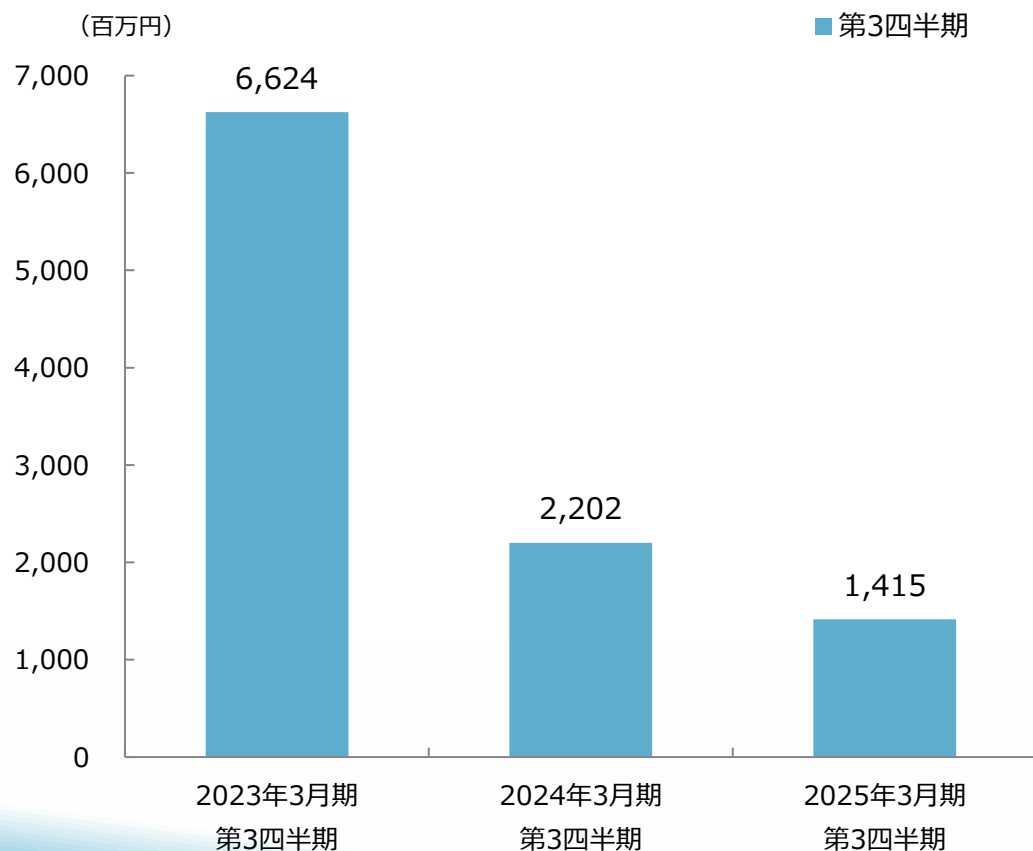
値上げによる一部顧客離れがあるも、前年並みに推移



セグメント別決算詳細④

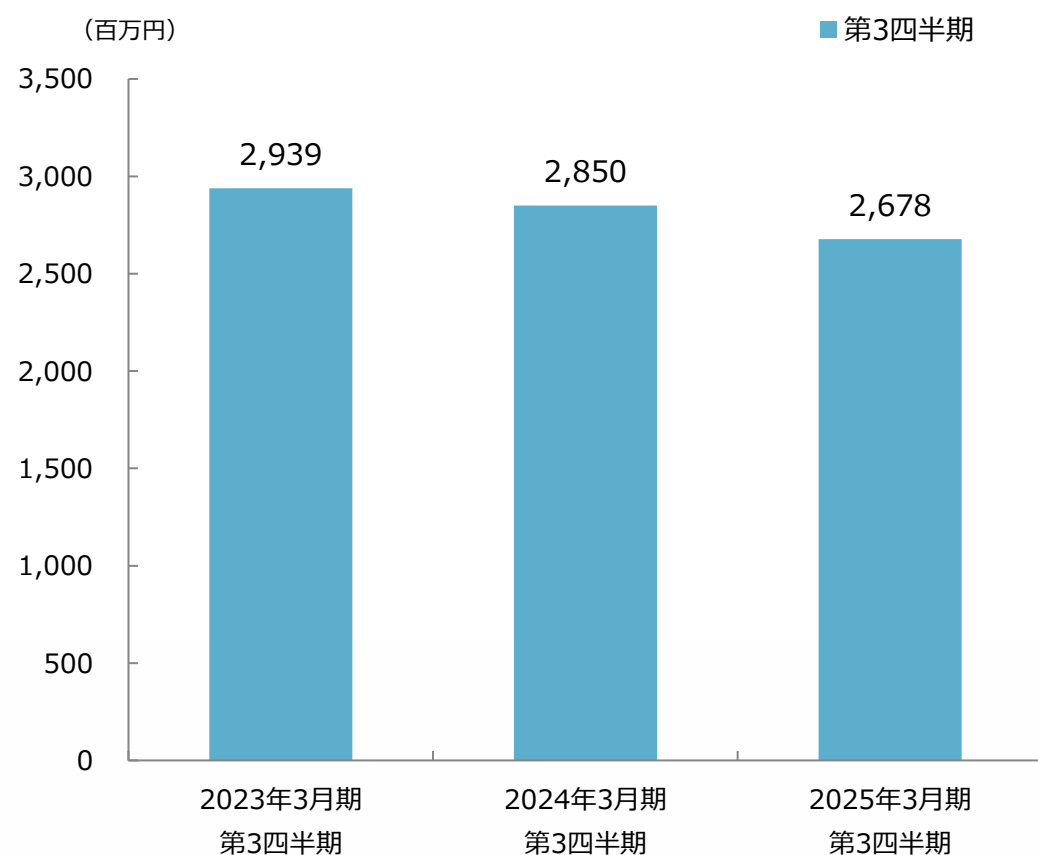
遺伝子関連

新型コロナ検査需要の剥落、LAMP法特許満了の影響により減収
特許料：1百万円（前年同期 314百万円）



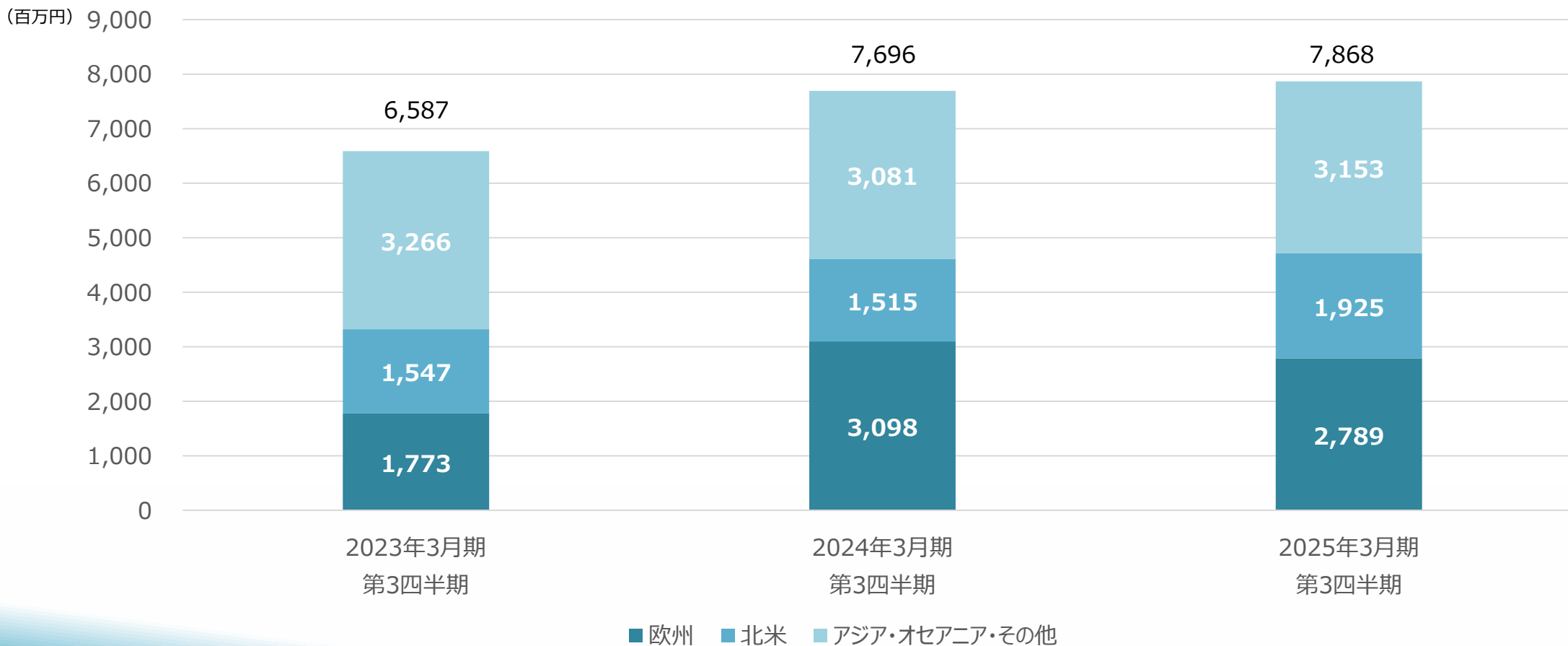
医療機器・その他

各種装置の切り替え時期の影響等により減収



海外地域別売上高

- (欧州) 便潜血の入札時期に伴う買い控えはほぼ解消
減収の主な要因は、開発途上国向けの結核検査薬 (TB-LAMP) ※1の出荷タイミングのずれ
- (北米) 便潜血検査の対象年齢拡大等の需要増加により増収
- (アジア・オセアニア・その他) 便潜血は微増収、尿検査試薬※2は堅調に推移



※1 途上国向け結核検査薬 (TB-LAMP) はすべて欧州地域に含む
 ※2 海外向け尿検査用試薬 (シスメックス(株)との提携) の売上はすべてアジア地域に含む

2025年3月期 通期業績予想

2025年3月期 通期連結業績予想

2025年3月期の通期業績予想に変更はなし

経費の削減・効率的な使用に努める一方、将来の成長に向けた研究開発等の投資は継続

	2024年3月期		2025年3月期 予想		前年比	
	(百万円)	売上高比率	(百万円)	売上高比率	(百万円)	増減比率
売上高	40,052	100.0%	40,200	100.0%	148	+0.4%
国内	29,936	74.7%	29,420	73.2%	△516	△1.7%
欧州	3,929	9.8%	4,500	11.2%	571	+14.5%
北米	1,959	4.9%	2,280	5.7%	321	+16.4%
アジア・オセアニア・その他	4,227	10.6%	4,000	10.0%	△227	△5.4%
売上原価	23,328	58.2%	23,320	58.0%	△8	△0.0%
売上総利益	16,723	41.8%	16,880	42.0%	157	+0.9%
販売費及び一般管理費	13,345	33.3%	13,670	34.0%	325	+2.4%
営業利益	3,377	8.4%	3,210	8.0%	△167	△5.0%
経常利益	3,568	8.9%	3,270	8.1%	△298	△8.4%
当期純利益	2,634	6.6%	2,620	6.5%	△14	△0.5%

2025年3月期 セグメント別予想

2025年3月期の通期業績予想に変更はなし

	2024年3月期		2025年3月期 予想		前年比	
	(百万円)	構成比率	(百万円)	構成比率	(百万円)	増減比率
便潜血	12,315	30.8%	12,690	31.6%	375	+3.1%
免疫血清 (便潜血を除く)	9,394	23.5%	9,500	23.6%	106	+1.1%
尿検査	4,401	11.0%	4,735	11.8%	334	+7.6%
微生物	4,312	10.8%	4,765	11.9%	453	+10.5%
生化学	575	1.4%	580	1.4%	5	+0.9%
器具・食品環境	1,961	4.9%	1,910	4.8%	△ 51	△2.6%
遺伝子関連	2,625	6.6%	2,210	5.5%	△ 415	△15.8%
医療機器・その他	4,464	11.1%	3,810	9.5%	△ 654	△14.7%
合計	40,052	100.0%	40,200	100.0%	148	+0.4%

その他トピックス

1. 自己株式取得状況
2. コンパニオン診断システム 受託検査開始
3. 全自動尿分析装置 US-3600、尿自動分析装置 US-1300 発売
4. Triple I for Global Healthへの参加

1. 自己株式取得状況

株主への追加の利益還元として合計50億円の自己株式の取得を2024年10月31日取締役会にて決定済み
現在までに累計約9.7億円の自己株式を取得、今後も機動的な自己株式取得を予定

【 2024年11月1日～12月31日（累計） 】

- 取得した株式の総数 447,100株
- 株式取得価額の総額 972,798,000円

(再掲) 自己株式の取得に関する取締役会での決議内容 (2024年10月31日)

- 取得し得る株式の総数 200万株 (計50億円) 上限
- 株式の種類 普通株式
- 取得期間 2024年11月1日～2025年7月31日
- 取得方法 東京証券取引所における市場買付

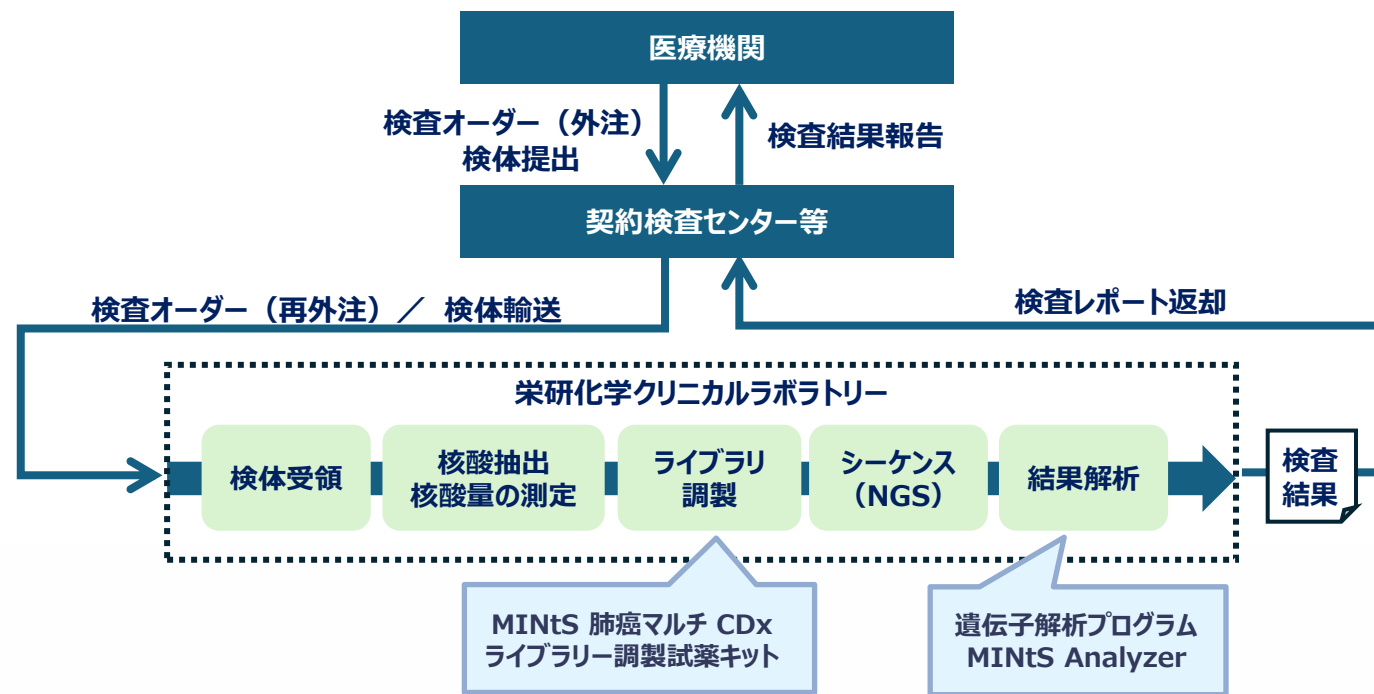
2. コンパニオン診断システム 受託検査開始

コンパニオン診断システムの薬事承認・保険適用 2024年12月から受託検査スタート

2024年12月3日 保険適用

『MINTs 肺癌マルチ CDx ライブラリー調製試薬キット』（11月1日薬事承認取得）

『遺伝子解析プログラム MINTs Analyzer』（9月30日薬事承認取得）



受託検査事業のながれ



医療従事者向けサイトの開設
<https://mints.eiken.co.jp/>

3. 全自動尿分析装置US-3600、尿自動分析装置US-1300 発売

尿検査用の後継機の2機種を新発売
従来装置の基本性能を継承しつつ、精度、ユーザビリティを向上

2024年12月19日発売

全自動尿分析装置US-3600

「USシリーズ」のフラッグシップモデル



【特徴】

- ・試薬の安定性向上機能を追加
- ・操作性向上により測定者の負担軽減
- ・省スペース化、消費電力の低減

2024年11月20日発売

尿分析装置US-1300

「USシリーズ」のコンパクトモデル



【特徴】

- ・廃棄ボックスの内蔵化で清潔性向上
- ・画面を大きくし操作性向上
- ・ISO15189対応機能を追加

4. Triple I for Global Healthへの参加

グローバルヘルス分野でのインパクト投資への対応

Triple I for Global Health (Impact Investment Initiative for Global Health)

- ✓ Triple I は、グローバルヘルス分野の社会課題の解決に貢献することを目指すG7のインパクト投資イニシアティブ
- ✓ 近年の低中所得国において、グローバルヘルス分野の財政負担が増大し、公的資金に加え、サステナブル・ファイナンスを含む、民間資金を動員することが喫緊の課題であったことが設立の背景
- ✓ 2023年5月のG7広島サミットにおける承認の後、同年9月の国連総会のタイミングに合わせて設立
- ✓ 設立から2年の間、日本政府が事務局を務めている
- ✓ 対象分野に感染症（結核、マラリア等）、顧みられない熱帯病（NTDs）



ヘルスケアを通じてこれまで以上に社会課題解決に貢献することを目指す

Saving Your Health

世界的な臨床検査薬企業として、人々の健康を守り続ける

本資料は、金融商品取引上のディスクロージャー資料ではなく、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載されている将来の予想等については、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、今後様々な要因によって予想と異なる場合があります。

本資料は、一切の投資勧誘またはそれに類する行為を目的として作成されたものではありません。

当社は、本資料の利用により生じたいかなる損害に対しても、一切責任を負いかねます。